

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 犬山市立東小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒484-0802
愛知県犬山市羽黒安戸西一丁目2番地

E-mail higashi@inuyama-aic.ed.jp

Website http://www2.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2310189

児童生徒数 男子 199名 女子 191名 合計 390名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動

本校は、犬山市の東部の田園地帯が広がる中に位置している。自然に恵まれ、野鳥や生き物が生息し、自然を生かした教育活動を展開することができる環境にある。また、地域の力を生かし、また地域と協力し合った教育活動を展開することで、地域に根付き、環境を考え、社会に貢献しようとする人間づくりを柱にした教育活動を展開することができる。そこで、これまでE S Dの視点に立った教育課程作りを推進し、総合的な学習と教科とをつなぎ合わせながら、より内容の濃いE S Dカレンダー作成を行ってきた。また、E S Dを現職教育の柱として、E S Dの視点に立った教育活動を展開し、自ら行動し、未来を切り拓く児童の育成を目指して学校全体で取り組んでいる。

(活動内容)

生活科や総合的な学習を軸として、各学年の取組は以下のようなものである。

1年生は、校内の自然環境に目を向け、四季折々の草花や木々の様子から、生きている植物とのつながりを感じることができた。また、東山動物園に訪問して動物の糞について学んだり、日本モンキーセンターの出前授業からはチンパンジーやサルの赤ちゃんについて知ったりして、命や命を育む営みの大切さについて学び、生きることへの喜びを感じ取ることができた。

2年生は、年間通じて季節の作物を育てた。作物を育てることが自分たちの命を育むものであり、育てること、収穫すること、それを味わうことによって、自然への感謝の気持ちをもつことができた。それとともに地域に出かけ、地域の人とふれ合う活動を通して、人とのつながりの大切さに気付くことができた。また、自分の育った生い立ちから今までを振り返り、育ててくれた家族への感謝を感じ取り、目標をもって生きていこうとする気持ちを高めることができた。

3年生は、「生き物のようすから未来を考える」をテーマとして、学校付近を流れる半ノ木川の生物にして観察し、環境の変化について学習した。日本在来種の生物や絶滅が危惧される生物を発見したり、外来種が生息し環境の変化を感じたりして、自分たちが過ごしている地域の環境を守っていこうとする気持ちを高めることができた。さらに、国語科「姿を変える大豆」から、大豆の変身を取り上げ、私たちの身体と食べ物との関係を見つめ、人間の知恵を学ぶとともに、将来につながる人と生き物とのつながりについて学ぶことができた。

4年生は、「福祉を通してともに生きる社会」をテーマとして、老人ホームに訪問して合唱をしたり、ふれ合う活動したりして、障害者や弱者の立場に立った学習を展開したりした。また、スーパーに出向き、困っている人たちを助けることで、自分たちが生きる今を大切にしていこうとする気持ちを高めることができた。それとともに、「ユニバーサルデザイン」について学習し、みんなが居心地よくともに生きていくための工夫を考えた。校内の安全や低学年の児童がより過ごしやすい学校生活を送るためのアイデアを生み出し実践した。それにより、4年生の児童は、社会や様々な人とのつながりや生き方について考えることができた。

5年生は、「お米から見る日本」をテーマとして、地域で農業を行っている方々から、「稲作」を学んだ。そして、食の安全や作物にまつわる日本の伝統や文化をつなぎ合わせながら、日本のすばらしさを感じ取り、日本人としての誇りにつなげてきた。その一方で、一次産業と対比した「物づくりの愛知」の伝統や技術を学習し、日本の未来を考える学習を行う。それにより、日本人として生きることへの自信と将来への希望につなげることができた。

6年生は、「世界から見る日本」をテーマとして、希望の未来を創造するために、私たちにできることを考え、行動できる子を育てたいと考えた。第1期では、「日本の底力を探究」するために、社会科の歴史学習をベースとして、我が国の伝統や文化に触れる体験学習や見学を通して学んだことを「日本の底力パンフレット」にして伝える学習を行った。第2期では、「世界の現状の探究」をするために、ドイツとの交流や日本と関係のある国について調べる活動を通して学んだことを、発表・劇・誌・篠笛作曲にして伝える活動を行った。第3期では、これまでの学習から地球の抱える問題を解決するために、自分のできることを考える学習に取り組んだ。自らの使命に気付き、生きることへの感謝を深め、希望の未来を創るために大きな志を立てる学習を展開した。

活動の成果としては次の点が挙げられる。

- どの学年の活動も、現状の理解から始まり、体験や活動を通して感性を高め、調べたり話し合ったりするなかで自分たちがやらなくてはならないことを自覚し行動しようとする学習活動を展開することができた。
- 調べ学習や話し合いから、多面的に考えたり、判断したりしようとする資質が育ち、意欲的に学習しようとする態度が育っている。
- 自分の姿を見つめ直し、将来の自分や周り（地域）について考え、地域や社会に貢献して生きていく気持ちが育っている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）